

iMovie で映像編集

とある目的で、ビデオカメラで映像として編集してDVDにすることに。
普段はお手軽に、SDカードにデータを保存しているのですが、
今回は、人にDVDで渡すということで
解像度が最大で320x240（持っているビデオカメラのスペック）
ではちょっと悲しいかなあと、初のDVテープでの撮影。
さて、DVテープをどうやってセットするのに戸惑ったりしつつも無事終了。
さて取り込んで編集だと、やおらIEEE1394でPowerBookに接続...
ん、等速でしか読み込めないのか？
みんなでビールやらコーヒータラ飲みながら、取り込みを待つ。
で、編集。編集は某CMさながら

映像編集をしたんだ。MacのiMovieっていうソフトで簡単にできるんだ
手順1：iMovieで、映像を好きな順序にならべる
手順2：いらぬところをカットしたり、映像の間に文字とか効果とかをいれたり
手順3：iDVDでDVDに焼く
手順4：ビールを飲む

...という手順ではあるのですが、なかなか面倒でした。
今回は、とても上手なMさんがいたので、
まずは、その人に時間のかぎり作業してもらって見学。

iMovie を使える 映像編集できる

ではないので、これは非常にありがたい経験でした。
で、そのMさんが帰った後は、数人でちまちまと同じように作業。
結果、なかなかいい感じに仕上がったと思います。
なんとなく間延びしたような感じのインタビュー画面も、
途中を切ったり、質問を文字に置き換えるだけで（画面転換の効果もあって）
ずいぶんと締まって、みやすくなるのだなあということがよくわかりました。
また何か映像編集したいなあ。

iMovie と iDVD で DVD 作成のまとめ

- ・iDVD 使うと、タイトル画面が作れる。適当な写真とかがあるといい
- ・取り込みには、撮影した時間と同じだけの時間が必要
- ・編集には、最終映像の上映時間の3～4倍以上の時間が必要
 - ・慣れても、映像を見ながらカットしたりする必要がある
- ・iDVDでのDVD作成には結構時間がかかる

撮影される側のコツ

映像編集をしてみると、上手な撮られ方というのがなんとなくわかります。
で、わかりやすいコツは

- ・話はじめと終わりはじめをはっきりする。
 - ・前後でえ～とかを長く発すると、切りにくいし間延びする。
- ・話はじめと終わりで、顔を固定する。
 - ・要は表情を作るとのこと。やたら動くときの瞬間の顔が変な顔になっていたりします。